

娘がアクセスに通いだしたのは6年生からです。その前までは大手の塾に通っていたのですが、塾に行かせている満足感や、娘の成績が着実に伸びているという実感がどんどん打ち砕かれる日々でした。娘の様子はというと、生真面目で不器用なので宿題は全部終わらせないと気が済まない、落ち着かない。毎日ただ目の前の膨大な宿題をこなすことに精一杯なようでした。この前わからなかったこと、昨日わからなかったこと、今日わからなかったことはとりあえずスルーでした。

机に年中向かっているのに勉強時間に比例した成長が私には何も感じられず不安になったものです。

しかし娘が長い勉強時間に費やしていたのは（娘にとっては）ほとんどが得体の知れない問題との睨めっこ時間でした。これをいくら時間をかけて睨みつぶしていても、脳みそに染みつくわけがないなあと。気づいたときに残ったのは苦手意識とサボりたい病と、親の焦り。

不安が拭えないまま、このまま時間が過ぎるのはさすがに無駄だと思い、半年悩んだ後アクセスへ。

すると、通ってすぐに娘の気持ちに余裕が出てきました。授業が面白いということと、宿題が無駄に多すぎることはない、ということが本当に合っていたんだと思います。娘から授業の土産話を聞いていて、お任せしようという信頼感もありました。

おかげで、アクセスに転塾以降はそんなに小言を言わずに過ごせたような気がしています。

アクセスの先生方、ユニークな授業やお喋り、説明会、何より中学受験という貴重な体験をととても豊かなものにしてくださって本当にありがとうございました。楽しかったです。